

6月21日：銀行、エネルギー株に牽引され続伸

昨日は銀行、エネルギーなどの大型株に牽引され、続伸した。

ホーチミン市場のVN指数は0.61%上昇し、1,118.46ポイントで引けた。

同市場の売買代金は17.5兆ドン（7億44百万ドル）、出来高は8億76百万株だった。

市場には強気な雰囲気にも包まれ、323銘柄が上昇し108銘柄が下落した。

ホーチミン市場の時価総額と流動性の大きい30銘柄で構成されるVN30指数は、0.71%上昇し、1,112.07ポイントで引けた。30銘柄のうち上昇は21銘柄、下落は7銘柄、変わらずは3銘柄だった。

アジア商業銀行(ACB)、TPバンク(TPB)、ナショナル・コマーシャル・バンク(NPB)、ベトナムバンク(VCB)、ミリタリーバンク(MBB)など大型の銀行株の上昇が目立った。

またペトロリメックス(PLX)、ビンソン・リファイニング・ペトロケミカル(BSR)、PVパワー(POW)、ペトロベトナム・技術サービス(PVS)、ペトロベトナム・ドリリング(PVD)、ペトロベトナム・ケミカルサービス(PVC)など、エネルギー関連株も買いを集め、上昇した。

セクター別では、25セクターのうち23セクターが上昇し、これらには石油・ガス、卸売、建設、ゴム製造、IT、物流、農業、不動産、食品・飲料、小売、魚介加工、建設資材、証券、プラスチック・化学品製造などを含む。外国人投資家はホーチミン市場で売り越し、売り越し額は4,094億ドンへ増加した。主にビナミルク(VNM、815億ドン)、SSI証券(SSI、625億ドン)、ベトナムバンク(VCB、532億ドン)、サコムバンク(STB、498億ドン)などが売られた。

「現在は一時的に利食い圧力が低下しているので市場は下支えされ、引けにかけて急速に上昇する場面も見られた。大型株の回復により幅広く買いが広がり、多くの銘柄が買い戻された。」とベトドラゴン証券は述べている。

「今後の立ち合いでも相場は下支えされ 1,125-1,130 ポイントを目指すと思われる。投資家はホールドしてもいいし短期的な利益を狙うことも出来るだろう。しかし過去数日で大きな売りに押された銘柄や動きのさえない銘柄は、反発局面があればいったん利益確定売りをするのも賢明だろう」と同社は述べた。

ハノイ取引所の HNX 指数は 1.31% 上昇し、231.77 ポイントで終えた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。